

平成23年度 第6回 One Coin 地域力 カフェ



やってるコト と やっつくコト

Gozzo山形 代表 佐藤智也



# 農業と料理のフリーマガジン Gozzo山形

- 2009年10月 フリーマガジンGOZZO山形 vol.1発行
- B5/16Pカラー/4,000部
- 2010年 1月 フリーマガジンGOZZO山形 vol.2発行
- B5/24Pカラー/10,000部
- 2010年 4月 フリーマガジンGOZZO山形 vol.3発行
- B5/28Pカラー/11,000部 (1,000部=サポーター)



# 農業と料理のフリーマガジン Gozzo山形

- 2010年 7月 フリーマガジンGOZZO山形 vol.4発行
- B5/28Pカラー/11,000部 (1,000部=サポーター)
- 2010年10月 フリーマガジンGOZZO山形 vol.5発行
- B5/28Pカラー/12,000部 (2,000部=サポーター)
- 2011年 1月 フリーマガジンGOZZO山形 vol.6発行
- B5/28Pカラー/12,000部 (2,000部=サポーター)



# 農業と料理のフリーマガジン Gozzo山形

- 2011年 9月 フリーマガジンGOZZO山形 vol. 7発行
- AB版／32Pカラー／20,000部（2,500部＝サポーター）



vol. 6発行後に発生した東日本大震災の影響を受けながら発行を見合わせていたvol. 7。

vol. 7発行前、編集部スタッフがこれまで関わった生産者や料理人から原発関係の影響や心配など多数の声もありましたが、同じくらい生産していく、料理で食を伝えていきたいという気持ちを受け取ったことで、編集活動を再開。また、これまで誌面タイトルだった「農業と料理のおいしい情報マガジン」から「農業と料理をつなぐフリーマガジン」にリニューアルし、これまで以上に人や食のつながりを伝えられる誌面づくりを行っています。さらに、消費圏である東京を舞台とするコンテンツ「東京でいただきます!!」を導入し、山形の人や食材の活躍ぶりを飲食店の紹介記事として掲載。山形の人には誇らしく、東京の人には山形を身近に感じてもらえるよう、そして次につながるよう陰ながら応援しております。

## 大切にしていることはシェアとシェアの質

- 当誌はシェアとシェアでできています。探求しながら編集し掲載される内容を読者にシェアすること、発行に掛かる費用をサポートャーや広告主にシェアしてもらうことです。
- 広告は何でもいい訳ではありません。何故？  
発行を繰り返していると「GoZZo山形は記事広告も楽しめるね」と言われることがあります。  
広告は邪魔者扱いされるのが多い中、読まれた方に食や文化の向上に前向きな会社や人が集い伝えることで、小さな媒体でも高い質を一緒に共有（シェア）できると確信しているからです。

## 農商工 \* 行政 \* 消費者をつなぐ 1/2

- 数ある無料情報誌の中1つである当誌ができること、それは農業と料理、強いては山形の食や文化の分野で活躍（頑張る人や事）をメディアとして表現し、その分野に感心の高い読者層に伝えることができる。
- 陰の努力や想いは伝わりづらいものです。農商工連携の上で出来上がった商品であったり、または各種イベントの裏舞台など、実際の味とは別の、ストーリーが人に感動を与え、つながりや購買のきっかけを生むと考えます。

## 農商工 \* 行政 \* 消費者をつなぐ 2/2

- <参考例>食の甲子園inやまがた全国大会2010では、実行委員会の想いと実際に行われた現場に入り、始まりから終わりまでを取材。取材内容は誌面にて記事紹介し、読者に伝えました。
- <参考例>山形駅西甸の朝市では、出店者のスナップ写真をメインとする掲載で、朝市に行ったことがない人にも雰囲気伝え、来場者の向上を目指しつつ、特別企画として山形大学のインターンシップ生をGozzo山形に迎え、紅花のおこわを開発、朝市にて限定発売しました。

## 活動実績の一部をご紹介します 3/6

- 2010年11月 食の甲子園inやまがた全国大会  
在来野菜及び特産物展示コーナーの設置管理



- 2011年2月 映画「よみがえりのレシピ」製作委員会イベント 食育講座(冬)企画



# 活動実績の一部をご紹介します 6/6

- 2011年11月 Green drinks Yamagata vol.0  
第1部 ワークショップ 第2部 飲みながら交流

## 第1部



県全域から集まった参加者とワールドカフェスタイルでワークショップを実施。地元で誇れるところは何？これからの山形はどうなって欲しい？などの題に、一人ひとりのアイデアが交差する場として、テーブルディスカッションが行われました。

## 第2部



飲食店と飲食店をネット中継で結び、お互いの考えや想いのシェアを実現。上の写真で皆さんが見ているのは中継先の映像や音声です。逆にこちらの雰囲気や音声も中継先に映されています。(中継先:東京の六本木農園)また、山形の漬物や鮮魚、酒やワインをイベントに合わせて六本木農園に提案、互いの会場で食も共有しています。大成功でした！

# 今後の展望

- リニューアル号であるvol.7発行より掲げている「農業と料理をつなぐ」を実現するために、これまで同様に探究心を持って取材編集活動を行うことは勿論、誌面発行以外の活動として、農商工連携等への協力、消費やPRを促すためのイベント活動、地域資源（耕作放棄地を含む）を生かすための事業へ協力など、メディアでできることと、読者や消費者とフェイスtoフェイスでできることをミックスし、Gozzoスパイラルで広く貢献していきたいと思っております！